

ご挨拶

早いもので2022年が始まって2ヶ月。本年もどうぞよろしくお祈いします。昨年は水引大使さんが増え、それぞれにそして一緒にワークショップや他の活動をすすめてきました。オリンピックの際の東京都による動画撮影、ウェディング関係の仕事、コラボワークショップや企画展と盛りだくさんでした。また会員さんも増え、初めて作品展も開催できました。1年に一度、自分の作品を考えて作る時間を皆さんに楽しんでいただけたかと思ひます。皆さんの素晴らしい作品に私も多くの刺激を受けました。

また、1月末には水引の試験がありました。水引についての知識、そして正しく結べているかを確認する内容です。試験をされていて思うのですが、正しく綺麗に結べることはもちろん大事ですが、それよりもっと大事なものは水引本来の目的である、相手を思い、相手が喜ぶ姿を思いながら結ぶということ。本末転倒にならないように、大事にしていきたいです。今年も水引のある心豊かな生活を、一緒に送っていきましょう。

新たに合格された大使

- ◆市田陽子（東京）
- ◆河邊典子（埼玉）



Topics1 様々なメディアで紹介されました！

和モダン水引協会が発足して約3年。活動の内容に目を止めてくださる先が1つ2つと増え、様々なメディアでご紹介いただきました。

- ✓ 東京都が開設した文化プログラムWEBサイト「Tokyo Culture Live Studio」
- ✓ 共同通信WEB版記事
- ✓ ジャパンタイムズ紙面・WEB版記事等



▲「Tokyo Culture Live Studio」WEBサイト
都知事から協力への感謝状も届きました



▲ジャパンタイムズ紙面



▲「NHK北海道」の番組に大使の青野さんが登場し、水引を紹介されました！



Topics2 初の会員作品展が開催されました



2021年10月 和モダン水引協会の会員作品展、記念すべき第一回が開催されました。

お一人おひとり、身に付けた技術を駆使し、個性豊かに表現された作品が並んだ様子は圧巻でした。作品展に向けて、一人で作品に向き合う時間はもちろんのこと、皆さんの作品1つ1つから新たな視点や刺激をもらえる貴重な機会でした。



展示された作品（大使除く）の中から、5つの賞が選出されました。どの作品も力作で、5つに絞るのが非常に大変でした。2022年度も10月に作品展第2回を開催します。自分らしい表現を形に創り上げていく楽しみを味わい、成長の機会として、ぜひご参加ください。

ワオde賞 鬼倉和世さん

息子さんの結納のために一生懸命作られた作品で、心がこもっています。初級でもこんなにできる！を示した作品でした。



和モダンde賞 二階堂邦子さん

色の魔術師と呼びたい色合わせのセンスが抜群です。こんな帯留めをつけてお出かけしたいですね。魅了されました。



キュートde賞 河邊典子さん

名前の通りとてもキュートな作品。昔、公園でシロツメクサをこんな風に編んで冠を作ったよねと思い出しますね。

エレガントde賞 小山泰子さん

立梅結びの梅の花が散りばめられたヘアアクセサリで、色合いやパール使いがとてもエレガントでした。



独創的de賞 市田陽子さん

水引のレッスン3回目の後に、この作品(写真右)を見せられて衝撃を受けました。多くの結びを知らなくてもクリエイティブなものができることが示された作品。



作品展では、2021年度大使メンバーで参加したフォトスタジオのウェディングアイテムの展示も行いました。約半年かけて6名で創り上げた品々。初めて見られた方からは「何の素材でできているすか?」「水引って、ブーケまで出来てしまうんですね!」と驚いてくださったり、様々な反響をいただきました。



Topics3 1/23 1/30 資格試験が行われました

今回の試験は、初級、中級、上級、大使試験のすべてが行われ、30名の方が資格取得に挑戦されました。

事前課題の提出、当日の筆記試験・実技試験にて、合否が決まります。

資格を目指して、事前に結びのポイントを集中して確認したり、水引きに関する知識を身に付けることで、より豊かな心で創作活動を行ったり、水引に向き合えるようになると思います。

資格試験は年に2回。次回は9月を予定しています。



【お知らせ】
次回の資格試験は、
9/4 (日) 9/11 (日)
を予定しています。



編集後記

和モダン水引協会の活動内容も広がりを見せ、第3号にして会報誌で扱うTopicsをどれにしようかと大変迷いました。12月に行われた「Happy Holidays」(企画展@代官山)、「Winter CRAFT Collection」(展示販売会@渋谷Bunkamura)、「Sakka de Zakka Cute展」(展示販売会@さっぽろ東急百貨店)など、他にもご紹介したいものが沢山ありました。嬉しい悲鳴です。(小笠原)

